

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子供

干布小学校だより

4月号 H30.4.21

天童市立干布小学校

校長 三好 義宏

「つなぐ・問いかける」を合い言葉に

平成30年度スタート！

「校長先生！桜の花きれいだねえ〜」優しく、明るい声が校庭に響きました。そんな声に包まれているような、子供が笑顔で登校できる学校づくりをします。平成30年度の干布小学校は、児童数126名、職員数17名、学級数8でスタートしました。今年も、学校目標「心豊かに たくましく伸びていく子供」をめざし、「つなぐ・問いかける」を合い言葉に、日常的に学習と生活の支援を行っていきます。子供たちのために、保護者・地域の皆様の温かいご支援を、宜しくお願いいたします。

始業式での校長の話より

一週間前に、貫津沼に行ってきました。先生のおじいさんの田んぼとぶどう畑が、貫津沼のそばにあり、よく遊びに行っていたのを思いだし、懐かしくなって見に行ったのです。沼には、約50年前にはあまりいなかった、渡り鳥らしいカモ類がたくさんいました。また、きらきら輝く水面の下に、たくさんの鯉が泳いでいるのは、昔とちっとも変わっていませんでした。

50年前のある秋、沼のとりの八幡山の山道を歩いていると、とっても不思議なものを見付けました。キノコのような茶色で、へびのような形で、親指と人さし指を広げたぐらいの大きさで、もぞもぞ動いていたのです。私が、生まれて初めて見た生き物です。はっきり言うと、気持ちの悪い生き物です。そこで、私のハートに火が付きました。「なんだこれは？名前を調べてやるぞ！」と。家にある図鑑で、学校の図書館で、お友達から聞いて、調査開始です。するとやっとなかりました。図鑑にそっくりの写真があったのです。その名は「ヤマナメクジ」でした。体長が10センチ以上になる、日本では一番大きなナメクジの一つでした。答えを自分の力で見付けられて、ちょっとうれしかった瞬間です。

さて、干布小で大切にしたい合い言葉を発表します。

一つ目は、「問いかける」です。

これは、分からないことや、はっきりしないことに好奇心をもって、自分とは違う考えや他の人に関心を向けて、自分にも、友達にも問いかける子供になることです。生活科の学習では「段ボールをどうやったらつなげて巨大な建物を作れるか、友達と一緒に考え工夫すること。」かもしれません。体育の学習では「どのように踏み切ったら、走り幅跳びの記録が伸びるか友達と一緒に考えること。」かもしれません。算数では「買い物に行ったとき、学校で習った3割引きの答えの出し方が頭に浮かんでくること。」かもしれません。自分から学ぼうとすること、難しい言葉で言うところ「主体的に」学んで、生活につなげられる子供になってほしいということです。

二つ目は、「つなぐ」です。

これは、昨年でも大切にしてきました。「お友達のことを気遣いながら明るく関わる。」「それぞれの違いを言葉にして、勉強につなげる。」「失敗や間違いを恐れず、自分で考え、行動し、活動を振り返る。」ことでしたね。今年も同様に、勉強したことを生活で使い、生活での気付きや疑問を勉強に生かしていきましょう。

この1年間で、先生方もみなさんとともに成長していきます。実りある1年となるよう、頑張っていきたいと思います。

職員紹介

- 校長 三好 義宏
(山形市立第六小より)
- 教頭 松田 洋
- 教務主任 瀬野 淳
- 養護教諭 佐藤 恵里
(昨年、高橋から佐藤に)
- 主事 笹 廣祐
- なかよし1組 眞木めぐみ
(天童中部小より)
- なかよし2組 設楽美由紀
(天童中部小より)
- 1年1組 堀川りり子
- 2年1組 沼澤 賛
(新規採用)
- 3年1組 西塚 真
- 4年1組 高橋 聡美
- 5年1組 深瀬 実
- 6年1組 武田 美紀
- 技能主査 瀧口 富夫
(高橋小より)
- すこやか支援員 堀 茜
(荒谷小より)
- 図書整理員 船津 知美
- 給食業務員 鎌田 忍
- 産前休暇 長濱 奈央
(昨年度末、村形から長濱に)

教育目標

心豊かに たくましく伸びていく子供

目指す子供像

自ら考え、学び続ける子供 / 思いやりをもち、つながりを深める子供
生命を大切にすること / ふるさとを愛する子供

学校経営の重点【特に意識して丁寧に実施するところ】

経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

- (1) 校内研究「追究する子供 追究するクラス」の日常化
 - ・教科における見方・考え方と実生活・社会とのつながり
 - ・子供が追究したくなる学習課題と単元構成の工夫
 - ・言語活動の充実
- (2) 教育内容をつなげ、生活に広げるカリキュラムづくり
 - ・学びを生かす生活。総合的学習の充実
 - ・子供の記録（写真、学習カード等）

経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

- (1) 生徒指導を基盤とした教育活動
 - ・多様性を生かす温かい子供理解に基づく学級経営
 - ・いじめの未然防止、早期発見に努める
 - ・ねらいと評価が明確な特別活動
- (2) チームで取り組む特別支援教育
 - ・「教えてほめる」支援、事前面談
 - ・日常の情報交換、教育相談
 - ・「すこやか座席表」の活用推進
- (3) 実感のある道徳教育
 - ・人間理解を深める道徳の時間

経営の重点3 生命を大切にすること

- (1) 読書活動を広げる
 - ・読書単元の工夫、充実
 - ・PTA活動とつなぐ
- (2) 健康教育の充実
 - ・基本的な生活習慣形成をカリキュラムとつなぐ
 - ・目標をもって取り組む体力づくり
- (3) 安全教育の推進
 - ・情報モラルの育成
 - ・判断力育成をめざした避難訓練

経営の重点4 ふるさとを愛する子供

- (1) 保護者との温かいつながり
 - ・保護者との積極的な信頼関係づくり
 - ・積極的な情報発信
- (2) 地域との温かいつながり
 - ・ねらいを明確にした体験活動
 - ・教科とのつながりを生かした地域素材の教材化
 - ・年度当初からの仕掛け、組み込み